



十文字西 公民館だより

■令和3年度-11号
令和4年 3月 1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一丁目330
☎ 44-3100 FAX 44-5243



「時代の変化に伴う公民館の役割」

十文字西地区交流センター長（兼）公民館長 近 孝夫

西地区の皆様、毎日のコロナウイルス対応に「疲れとイライラ」が長引き大変辛い生活を繰り返していると想像されます。2月はコロナウイルス（オミクロン株）のまん延に歯止めができない状況が続き、横手市では現在使用している公共施設や体育館等を休館し、コロナ対応に全力を費やしてきました。しかし、まだまだ油断できない状況がつづいています。

この間、西地区館でも1月26日（水）から2月20日（日）まで休館し、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。今後の状況次第で更なる延長がないか大変心配しながら状況を見守っています。一日でも早くコロナウイルスが消滅され「安心安全な生活」を取り戻すことを強く願っています。

さて、弥生は「3月」のことですが、もともとは弥生は「旧暦の3月」を指す言葉です。現在は旧暦3月を新暦3月と考え、弥生を新暦の3月として使用しています。旧暦の3月を新暦に換算すると一ヶ月ほどズレが生じ、3月下旬から5月上旬頃になるとのことです。

ところで、弥生の「弥」は「いよいよ・ますます」、「生」は「草木が生い茂る」という意味であり、冬が終わって草木が芽吹き生い茂る季節を表現しています。この事に因んで3月は「コロナが過ぎ去って我々人間」が、いよいよ「元気を取り戻す季節」になることを皆様と共に強く望みたいと思います。

— 話題提供 — コロナ禍における公民館の役割

岡山市教育委員会生涯学習部生涯学習課 公民館振興室主任 田中 純子 氏

- つい最近までの公民館は「集まろう」「語り合おう」と「三密」を進めてきた立場から、コロナ禍では「はなれてください」と三密回避を進めなくてはいけない矛盾と葛藤に悩んだ。
- 「はなれて・つながる・こうみんかん」の取組メッセージを募集した。
 - ①元気や知恵を出し合う取組
 - ②暮らしの応援と助け合いの取組
 - ③テレビやICTを活用した取組 ※ICTとはSNSやメール等の情報通信技術のこと。
(Information and Communication Technology)

～ 偉人の言葉に学ぼう ～

◆心に響く「論語」より ※リーダーに必要なもの



「子曰く、君子は言を以て人を挙げず、人を以て減を廃せず。」

《意味》すぐれた指導者は、立派なことを言うからと言って抜擢しない。
普段の行いが悪いからと言って、意見を無視したりしない。

施設の使用について

★2月21日(月)から公共施設の使用が再開されました！



コロナウイルス感染拡大のため休館していた施設「西地区館、十文字西地区交流館、十文字西スポーツ交流センター（旧西中）」の使用が再開されました。地域の皆さまには、次の感染予防に御留意しながら御使用くださるようお願いいたします。

- マスク着用（咳エチケット）を徹底する。
- 手洗い、手指消毒を徹底する。
- 常時換気や、こまめな換気をする。
- 人と人の距離を確保し、密にならない行動をする。
- 利用団体の代表者は参加者を把握しておく。
- 体調に異常のある方の利用はできない。
- 3月6日（日）まで小・中学校の使用は自粛。
- 3月末まで飲食を含む会合は利用できない。



【施設の使用料金 ※1時間ごと】 ■問い合わせ先 ☎44-3100（西地区館窓口）

西地区館	研修室A・B（和室）	150円	
	視聴覚室		
	調理実習室		
	会議室		100円
	小会議室		
	多目的ホール		300円
	農事相談室		250円
交流館	交流室	150円	
	陶芸活動室		
旧西中	体育館	300円	
	ミーティングルーム	100円	
	指導員室		
	グラウンド	無料	



●別れと旅立ちの季節 ……

間もなく卒業シーズンを迎えますね。長年慣れ親しんだ学び舎や、お世話になった先生方、親しい友人との別れがあり切なく感じますが、同時に新たな旅立ちや出会いの季節でもありますね。子どもたちやご家族にとって、希望に満ち溢れたものでありますように…。

さて、今年度もコロナウイルスの感染拡大で残念ながら中止となった事業が多くありました。

来年度こそは、コロナウイルスが終息し皆さんと共に活動できるよう願っております！（事務局）

